

講師紹介

武藤 芳照 (むとう よしてる)

- ・東京大学名誉教授
- ・東京健康リハビリテーション総合研究所 所長
(ホームページ: <http://kenko-reha.jp/about/>)

モットーは

「むずかしいことを やさしく
やさしいことを ふかく
ふかいことを おもしろく」

(井上 ひさし)



SEMINAR 内容

◆ 健康リハビリテーション内田病院 「武藤ゼミ」 ◆

- ・第一回 「 健康リハビリテーションとは 」
- ・第二回 「転倒予防の理念と実践 — 多職種連携と事例研究 —」
- ・第三回「子供の健康とスポーツ～運動器と運動を大切に～」

SEMINARの様子(院内研修)



職員の声

- ・難しい内容を話す時に、患者さんにわかりやすく話すにはどのように話せばいいのか勉強になった。先生に心を掴まれた気がします。(リハビリ)
- ・はじめて対面する患者さんと話す場合、どのように心を掴んでいけばいいのかのコミュニケーションツールとしてすごく勉強になった。(看護師)
- ・ひとつの事を話すのに、文化的な事、習慣的な事、言語的な意味など、多彩な内容を絡めて話すことで、一つの事に対する理解がより深く、印象的に感じられた。
患者さんに話すときに応用していきたい。

など

SEMINARの様子(院外研修) 子供の健康とスポーツ



参加者の声

- ・医学的なお話と、子供の健康と運動の大切さとはどのような接点があるのか、とても勉強になりました。
- ・一昔前は、いわゆる「体育会系」と言われるような文化が部活やクラブにはあったが、現代ではパワハラ・モラハラといった内容が聞かれるようになってきた。子ども達に正しいスポーツとはなにかを教えるきっかけが出来た気がします。
- ・体育とは本来「身体教育」という語源が正しいという事を、今日知りました。からだの理を知り、正しい知識で、からだを動かすことの楽しさを教育の中に取り入れていきたいと思います。
など。